



Scan for full manual

VW-16 クイック スタート ガイド

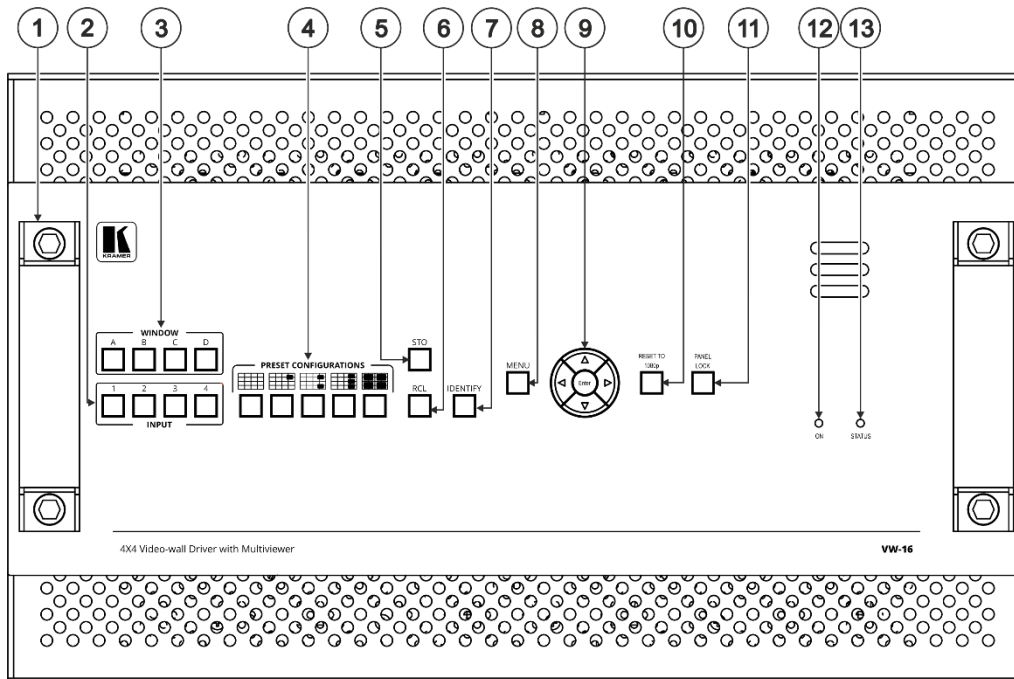
このガイドは、VW-16 を初めてインストールして使用するのに役立ちます。






www.kramerav.com/downloads/VW-16 にアクセスして 最新のユーザーマニュアルをダウンロードし、ファームウェアのアップグレードが利用可能かどうかを確認します。

ステップ1：ボックスの内容を確認する

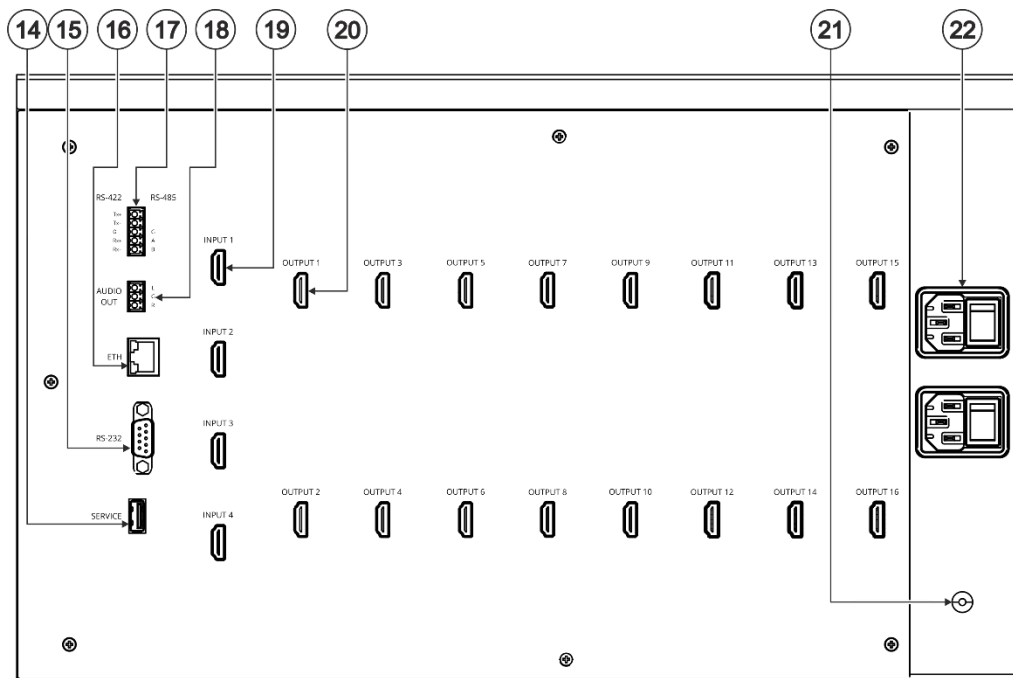
- ✓ VW-16 4x4 ビデオウォール ドライバー
- ✓ ラックイヤー 1組
- ✓ 1 クイックスタートガイド
- ✓ 2 電源コード

ステップ2：VW-16 の説明



No.	項目	機能
1	メタルハンドル (x2)	簡単に持ち上げられる剛性のある金属製ハンドル
2	INPUTボタン(1~4)	ウィンドウボタン(上記)を押した後、入力ボタンを押して、そのウィンドウの入力を選択します。ウォールの構成にウィンドウが1つしかない場合は、入力ボタンを押すと、ウォールの入力を選択されます。
3	WINDOWボタン(A~D)	押してウィンドウA、B、C、またはDを選択します。
4	プリセット設定 (PRESET CONFIGURATIONS)ボタン	設定ボタンを押して、次のいずれかのプリセットを設定します(マルチビューモードの各ウィンドウは、内蔵Webページでサイズと位置を変更できます)。  ビデオウォールモード：1つのソースのビデオのみがビデオウォールに表示されます。  マルチビューモード：ビデオウォールの親画像の上に1つのPiPウィンドウを表示します。  マルチビューモード：ビデオウォールの親画像の上に2つのPiPウィンドウを表示します。  マルチビューモード：ビデオウォールの親画像の上に3つのPiPウィンドウを表示します。  マルチビューモード：4x4ビデオウォール上に4つのウィンドウを表示します。
5	STO ボタン	押してから入力ボタン(1~4)を押して、現在のビデオウォール設定を保存します。

No.	項目	機能	
6	RCL ボタン	押してから入力ボタン(1~4)を押して、事前に保存されたビデオウォール設定を呼び出します。	
7	IDENTIFY ボタン	押すと、A、B、C、またはDを表示して各ウィンドウを識別します。	
8	MENU ボタン	OSDメニューを表示します。	
9	ナビゲーション (Navigation) ボタン	◀	押して数値を減らすか、複数の選択肢から選択します。OSDメニューにないときは、押すと出力音量を下げます。
		▲	押してメニューリストの値を上に移動します。
		▶	押して数値を増やすか、いくつかの選択肢から選択します。OSDメニューにないときは、押すと出力音量を上げます。
		▼	押してメニューリストを下に移動します。
	ENTER	押して変更を受け入れ、セットアップパラメータを変更します。	
10	RESET TO 1080pボタン	約5秒間押し続けると、出力解像度が1080pに設定されます。	
11	PANEL LOCKボタン	押し続けると、フロントパネルボタンのロックとロック解除が切り替わります。	
12	ON LED	電源投入時は緑色に点灯します。	
13	STATUS LED	ファンが正常に動作すると緑色に点灯し、ファンが故障した場合に点滅します。	



No	項目	機能	
14	SERVICE USBポート	USBメモリを接続してファームウェアの更新をします。	
15	RS-232 9ピンD-sub シリアルポート	PC/シリアルコントローラに接続します。	
16	ETHERNET RJ-45コネクタ	LAN経由でPCまたは他のコントローラに接続します。	
17	5ピンターミナルブロックコネクタ	RS-422 (Tx+,Tx-,G, Rx+,Rx-)x-	PC/シリアルコントローラに接続します。
		RS-485 (G, A, B)	
18	AUDIO OUTPUT 3ピンターミナルブロックコネクタ(L, G, R)	アンバランスステレオ音声アクセプター(パワードスピーカーなど)に接続します。	
19	INPUT HDMI コネクタ(1~4)	最大4系統のHDMIソースを接続します。	
20	OUTPUT HDMI コネクタ(1~10)	最大16台のディスプレイに接続します。	
21	グラウンド ネジ穴	必要に応じて、M3ネジを使用してアース線を締め付けて、アースに接続します。	
22	主電源コネクタと電源スイッチ	電源コードを差し込み、スイッチで電源をオン/オフします。	

The HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, および HDMI Logolは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

ステップ3: VW-16 の設置

本機をラックに取り付けるには、両方のラックイヤーを取付けます。(本機の両側からネジを取り外し、それらのネジでラックイヤーに取り付けます)又は机上に本機を設置します。

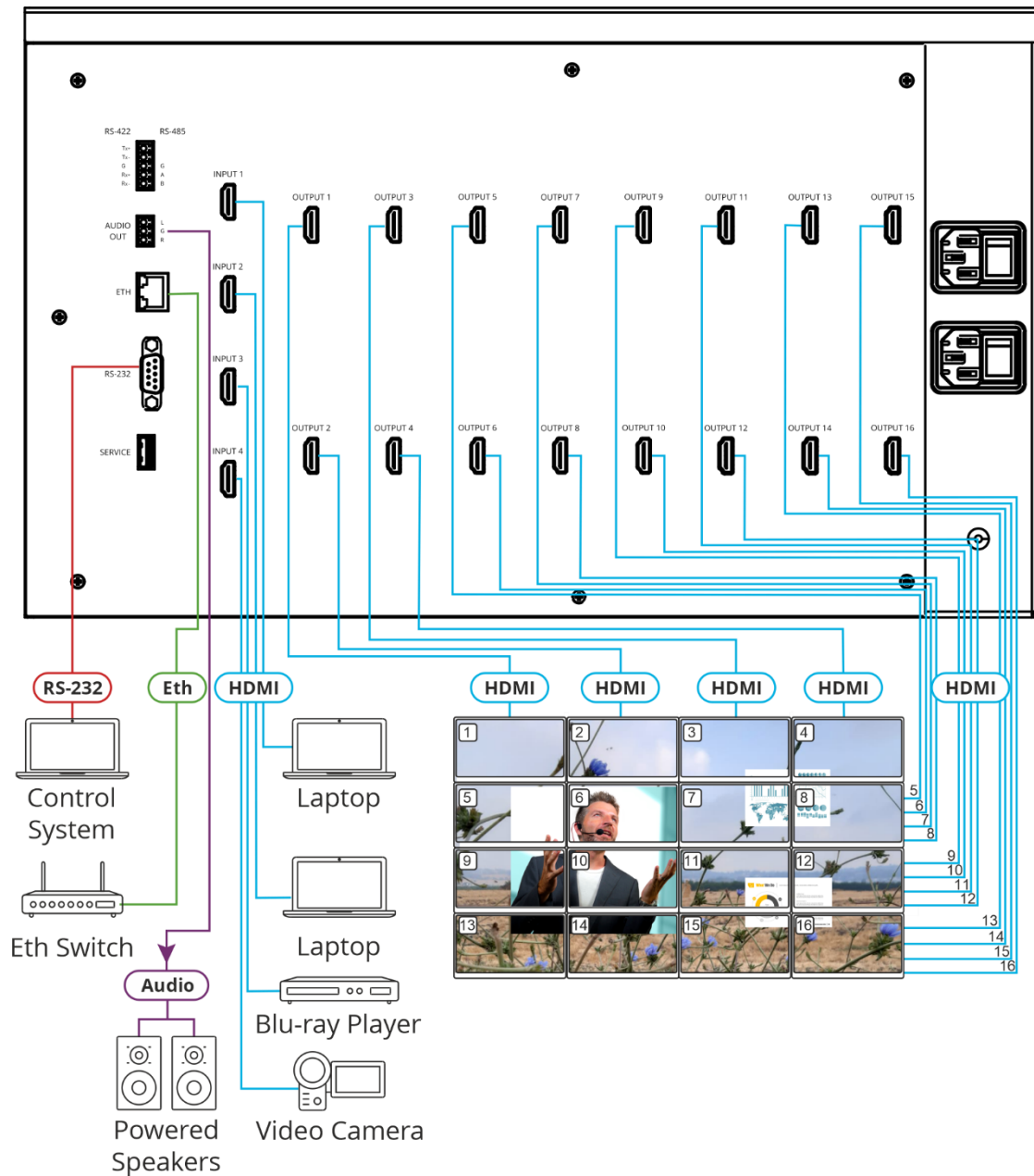


- 環境 (最大周囲温度や空気の流れなど) が機器に適合していることを確認します。
- 不均一な機械的負荷を避けてください。
- 回路の過負荷を避けるために、機器の銘板定格を適切に考慮する必要があります。
- ラックマウント機器の確実な接地を維持する必要があります。

ステップ4： 入力、出力の接続

VW-16に接続する前に、必ず各機器の電源をオフにしてください。

この図は、マルチビューモードで 4x4 ビデオウォールを構成する例を示しています。その他の構成は、内蔵Webページから設定できます。



ステップ5： 電源の接続

電源コードを VW-16 に接続し、主電源に差し込みます。

安全上の注意 (最新の安全情報については、www1.kramerav.com を参照してください)



注意：

- リレー端子と GPI/O ポートを備えた製品については、端子の横またはユーザー マニュアルにある外部接続の許容定格を参照してください。
- ユニット内部にはオペレーターが修理できる部品はありません。

警告：

- ユニットに付属の電源コードのみを使用してください。
- 設置する前に、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ユニットを開けないでください。高電圧は感電の原因となります！ 有資格者のみがサービスを提供します。
- 継続的なリスク保護を確保するために、ユニットの底面にある製品ラベルに指定されている定格に従ってのみヒューズを交換してください。

ステップ6 : VW-16 の操作

本機の操作は、次の様に可能です。

- フロントパネルボタン
- タッチスクリーンシステム、PC、
その他シリアルコントローラー
からのRS-232/RS-422/RS-485
制御コマンド
- イーサネット経由の内蔵Webページ

RS-232 制御 / プロトコル 3000

Baud Rate:	115,200	Parity:	None
Data Bits:	8	Command Format:	ASCII
Stop Bits:	1		
例 : (mute video on output 1): #VMUTE 1,1			